こども発達センターについて

問　こども発達センターとは。

答　子どもの出生から継続して、各機関と連携し、ライフステージに応じた相談や支援を行うための拠点として、いきいき広場3階に開設しています。支援の足りない部分や、専門職による支援が必要な場合のお手伝いができればと考えています。

問　連続研修とは。

答　障害のあるなしに関わらず、保護者の安心につながる支援や利用者の声を届けることで、子育て支援をしています。

生活困窮者の学習支援事業について

問　子どもたちの昼食づくりなど支援をしている団体はいくつありますか。

答　高浜市ほど多くの団体に参加していただけるところはまれで、地域の様々な団体で15です。

問　今後の展開は。

答　貧困の連鎖を断ち切り、自立できるようにしたい。高校卒業を目指すための中退防止や、小学校の高学年に始まる不登校を防ぐため、支援する必要があると考えています。

長谷川 広昌 議員

公共施設のあり方計画と平成28年度当初予算編成について及び長期財政計画の策定について

問　現在開催中の市民説明会において配布されている「公共施設あり方計画推進プラン見直し案」では、流作グランドと碧海グランドの大規模改修、本庁舎のリース料、中央公民館の取り壊しが平成28年度実施事業として計画にあがっているが、この4カ所の平成28年度当初予算編成状況は。

答　現時点で流作グランドは平成29年度以降、碧海グランドは平成28年度に7千2百万円程、本庁舎は平成28年度に1億6千5百万円程で予算計上予定。中央公民館は調整中。

問　流作グランド大規模改修事業が、現時点で既に先送り。中央公民館の取り壊し費用が、現時点ではっきりと示されないことは残念である。また、市民の皆様の関心が高く、多数の疑問や意見等いただいている病院の関係は、説明会の時点で新病院の概要と併せて、市の財政負担額も示すのが市の責務だと考えるが、いかがか。

答　新病院の建設に当たっては、20億円を限度とした財政支援を行う。土地については一部借地であるため、従来の賃借料に代わって用地買収費用が発生することを想定している。一方で、新病院に対する運営費や修繕費の財政支援は行わない予定であるが、今後の新病院に関する協議は「新協定書」で対応する。

問　今後も市民説明会は開催される。スピードも大切だが、一度立ち止まって考えてみることも必要なことだと考える。市民の皆様の声にしっかりと耳を傾けるとともに、よりわかりやすく説明をする努力、より早く情報をオープンにする努力をしていただきたい。また、新病院の建設費や補助金等を捻出できるかどうかの判断材料ともなる「長期財政計画」の策定を、平成28年度当初予算案編成前に議会に示していただきたいが、いかがか。

答　出来るだけ早く「長期財政計画」を示したいが、当初予算案編成前には困難と思われる。

黒川 美克 議員

学校施設改修に対する予算編成について

問　平成28年度学校施設改修の予算編成について。

答　学校施設は築30年を超えた校舎が大半で、老朽化に伴う不具合が年々増加している。従来の施設に不具合があった際に保全を行う「事後保全型」の管理から、計画的に施設の点検・修繕等を行い、不具合を未然に防止する「予防保全型」の管理へ転換する必要があると考えているが、突発的にさまざまな施設・設備の不具合が生じている状況から、事後保全型の管理になっている状況にある。来年度の学校施設改修予算編成の考え及び改修の優先順位付けは、児童・生徒の安全・安心を脅かすものと、法定点検や公的機関による検査の結果改善指導のあったもの。学校教育活動に支障があり、特に学校から強く要望のあるものを最優先に修繕を行い